

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年12月11日
タイトル	第2回ひろしま農業農村整備の集いin神石高原へ参加しました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年11月24日、広島県神石郡神石高原町の神石高原町総合交流センターじんせきの里において「第2回ひろしま農業農村整備の集いin神石高原」が開催され、広島県内の水土里ネットや市町、農業協同組合や農家の方など農業関係者から約180人が参加し、地元高校の研究発表、パネルディスカッション、記念講演が行われました。水土里ネット福山からは役職員24名が参加しました。

神石高原町は、広島県東部の中山間地域で「緑豊かな自然環境・清涼な気候・寒暖の差」を最大限に利用した農業「赤と黒にプロジェクト」として「夏秋トマト、神石牛とピオーネ」の振興にとりくんでおられます。

午前の部では、広島県立油木高等学校の研究発表が行われました。油木高校は普通科と産業ビジネス科があり、産業ビジネス科では、ナマズの養殖、野菜、草花の栽培、牛の管理や養蜂、食品加工など地域農業を実践し専門知識を深める学習に取り組んでいます。また、町からの8つの支援として公設塾「はやぶさ塾」で基礎基本の徹底、受験学力の充実や各種検定受験料の補助などの支援を受け「自分を伸ばし進路を拓く油木高校」を目指しておられます。



「テクノロジーを利用した地域活性化」で酒造リノベーションでは、町内の酒造業者と協力し、酒蔵改修や酒米の有機栽培の体験、賞味期限の短い日本酒を浄酎することによりライスウィスキーのような日本酒の概念を破る商品開発をしました。ドローンアカデミーは、ドローンを利用し地域の魅力をPRする取り組みで空撮班、農業班、イベント班に分かれプロモーションビデオの作成や大規模農業支援のため植物体の観察や高校生が地域住民にドローンの講習を行っています。研究発表のプレゼンテーションにもドローン空撮を駆使したもので素晴らしい完成でした。

「ナマズプロジェクト」では、地域の水田を利用してナマズを養殖しマツダスタジアムでナマズのフリッターを販売実習していますが、食品に加工する際7割近くが廃棄されることから未使用部位の有効利用を考え、あら汁やかば焼きを考案し地域の祭りで販売しました。今後は校内で「ナマズ水族館」を開設し世界中へナマズの魅力を発信していきたいそうです。

「町営農業法人による地域活性化」では、神石高原町の地域課題として人口減少、高齢化、農業者減少、耕作放棄地の増加、害獣被害があり、町の挑戦として超高付加価値産業の実現、チャレンジファンドの創設、世界を相手にできる人材づくりを掲げ、町全体を農業特区に指定し町営農業法人で耕作地放棄地に牛を放牧したり農作物の生産をし農業従事者の減少には水管理システムやドローンなどを活用したスマート農業を提案し、町営農業法人の経営で43億円の純収益を見込んだ提案がされました。

発表されたものはどれも専門的で大学の論文や行政への政策提言に匹敵するようなもので感心しました。

午後からのパネルディスカッションではコーディネーターに広島大学大学院統合生命科学研究科の細野賢治准教授をお迎えし、パネラーには(株)ヴィレッジホーム光末の代表、光末幸司氏、陽光の里トマト団地営農組合の組合長

枝川 隆氏、(株)森岡農園の代表取締役、森岡裕也氏、(同)ユキファーム前原の代表社員、前原由臣氏が加わり「中山間地域における地域農業の展望」をテーマに議論されました。

それぞれ中途から農業や畜産を始めたが「神石牛」「トマト」「こんにゃく」といった全国にも通用するブランドが確立されていて町やJAの支援や補助が充実していたことと地域の方や経験者からの惜しみない支援があったそうで「ふるさとの人との繋がりが農業をする上で心に支えになっている。」という言葉が印象的でした。



農作物の生産では仕事のピークがあるため、雇用確保のため生産するものを調整することや和牛の繁殖では牛のお産にスマートフォンを導入するなど具体的な話を聞くことができました。

続いて「中山間地域における地域農業の展望」と題し、宮崎雅夫参議院議員が講演されました。

日本の中山間地域と呼ばれるところは、地元の方が気付かない素晴らしいところが多くあり、神石高原町のように地域の魅力を発信し地域の活性化をすることが重要である。それには、平成30年西日本豪雨や、相次ぐ台風等により全国各地で甚大な被害が発生し復旧・復興の取り組みが急務であり、災害に負けない基盤整備が必要不可欠となる。農業をしっかりとすることが国土を守ることになる。また、これからの農業はAI導入などスマート農業の展開が必要となることを話されました。

講演の後、水土里ネット福山の小林和弘監事より「私たち年配者はこれからどうしたらいいのでしょうか。」と質問をし「これまでの経験と知恵を若い世代へ伝えてほしい。まだまだ若いですから頑張ってください。」答えられました。



熱心に講演を聞きました！



「第2回ひろしま農業農村整備の集いin神石高原」に参加し、農業農村整備の重要性や今後の水土里ネット福山の運営の参考にさせていただこうと思いました。

参加した役員は「油木高校の発表は素晴らしかった。近くにこんな高校があって羨ましい。」「パネルディスカッションを聞いて町全体で新規就農者を支えていることが伝わった。農業の未来は明るい。」と話し、充実した研修となりました。